

証人喚問の内容

■第二回証人喚問

〔宇野裕県議〕 令和二年一月十日

証言を求める事項 栗田市議に伝えた、荻谷市議が千葉県議会議員に持参した陳情に関する経緯

質問 栗田議員に伝えた情報はどこから入手したのか。

答え 太田安規市長から依頼をうけた。その内容は、太田市長は県の家畜保健衛生所建設に対し一貫して賛成（歓迎）の立場であったにもかかわらず、県の担当課からいきなり市長は反対しているのかと言ったような趣旨の問い合わせがあった。「県の上層部になにかあったのか、調べてほしい。」と言うような要請であった。その後調査のため、九月二十日頃、阿井県議会議長に直接会って確認した。さらに九月二十四日にも電話で再確認した。

質問 確認した事件の内容はどのようなものであったか。

答え 荻谷市議が、九月十日阿井県議会議長を訪問し、阿井県議会議長宛と県知事宛の反対署名簿を持参し、阿井県議会議長に対し「一通は県知事に取り次いでほしい。」との要請をした。

同時に「地元の太田市長も家畜保健衛生所の建設に反対である。」旨の加言もあった。同日午後、阿井県議会議長は、県の半田農林水産部長を議長室に呼び、地元市長も反対している旨の報告を行った。

■第三回証人喚問

〔太田安規市長〕 令和二年一月十七日

証言を求める事項 宇野県議会議員が述べた内容の真偽について

質問 県の家畜保健衛生所の建設計画を、県から市長に説明があった時期、場所、立ち会った県側、市側職員についての説明を求める。

答え 時期は昨年の4月下旬、場所は市長応接室、市職員は塚本産業振興課長、県職員は

井出課長・近藤副課長・渡辺副技監・坂元主幹の四名。県から同施設を本市に建設すると聞いて、市長はどのような思いを抱いたか。

質問 「これは本市の発展につながる。畜産関係者にとっても非常に良いことだ、是非早く本市に建設をしてほしい。」と、歓迎の気持ちで要望した。

質問 荻谷議員が反対署名簿を持って、市長のところに外向いたのはいつか、その時どのような会話があったか。

答え 令和元年九月三日、市長室である。その時、市として反対してほしい、と言った意味の言葉はなかったと思うが、今泉有志一同がこれだけ反対しているの、市としても県に対して反対してほしい、という内容の、かがみがあったのは、記憶している。

質問 宇野県議はこの一月十日の証言の中で、太田市長から「県から不可解な電話があった。」「確認してほしい」と依頼されたと述べているが、これは事実か。

質問 県に何か不穏な動きがあるようなので、「確認をするよう」依頼した。

答え 県に何か不穏な動きがあるようなので、「確認をするよう」依頼した。

（紙面の関係で、内容は一部省略）



畜 第 966 号
令和元年10月30日

匝瑳市議会議員 様

市議会運営に係わる確認事項について（回答）

- 9月10日（火）の午後、阿井県議会議長から議長室に呼ばれ、家畜保健衛生所の整備に反対する署名を受領した。議長からは、「市議会議員からこの署名を預かった。知事にあてたものではあるが、部長に渡しておく。なお、市長も反対しているということだ」という趣旨の話があった。
- その後、これを持ち帰り、部長室で井出畜産課長に署名を預け、「市長が反対となると、整備を進めるのは難しくなってしまう」旨を伝えた。

令和元年10月30日

千葉県農林水産部長

傍聴なされた市民の声

1月10日と17日の2回に渡り傍聴することが出来ました。

裁判の様に証人は「ウソ」「偽り」なく真実を述べることを宣誓して会が始まり、委員長より証人は簡潔に述べる事と言葉がありました。委員長のそのない質問に対し、証人は的確なお答えでした。

今回傍聴させて頂いた感想は、宇野県議会議員、太田市長両名は当市発展を考えての内容でありました。今回の百条委員会は当市活性化には必要不可欠であります。今回の百条委員会は当市発展に誰が妨害しているのかを市民にはつきりさせて頂ければ議会運営が良くなると思います。

2日間の傍聴でしたが大変有意義な日となりました。（一部省略）
有識者K氏

先ず何よりも議員の発言の是非での百条委員会に驚き、また残念でした。

委員会には多くのマスコミの方も来て、大変緊張した中で委員の皆様は浅野委員長を中心に事実の解明に真剣に喚問する姿、また、証人として立った宇野県議、太田市長の発言も印象的でした。

本件は、今泉地区に出来る県の施設について、太田市長は大賛成だと言っていますが、一議員が県庁を訪れ、太田市長も反対だと言った事が問題のようです。百条委員会の委員の皆様には一刻も早く事実を明らかにし、大切な三月議会に全力で取り組まれる事を願います。

元議員 I 氏